

はじめに

三重県では、平成 26 年 4 月から「みえ森と緑の県民税」を導入し、「災害に強い森林づくり」と「県民全体で森林を支える社会づくり」を進めており、その取組の一つとして、森林環境教育・木育の推進に取り組んできました。

この税を活用して、平成 28 年 4 月からは、森林環境教育・木育活動や森づくり活動の総合窓口となる「みえ森づくりサポートセンター」を設置・運営し、森林環境教育・木育活動のコーディネート、指導者の育成や紹介、出前授業や活動事例集の発行などを行ってきたところです。

こうした中、令和 2 年 10 月には、森林や社会を巡る情勢の変化に対応するため、県がこれまで推進してきた森林環境教育・木育を、明確な目的意識の下、より効果的に実施していけるよう、取組の方向性を改めて整理した「みえ森林教育ビジョン」を策定し、基本的考え方や目標とする社会、人物像及び進め方を発展的に整理したうえで、森林教育指導者、森林・林業・木材産業関係者、保育関係者、教育関係者等と共有しながら、これらの取組を森林教育として一体的に進めていくこととしたところです。

この「森林教育活動事例集」は県内の学校等で実施された森林教育の活動事例を、ご提供いただいた情報をもとにまとめ、編集したものです。

実施された活動内容のほか、活動のねらいや時間割等についても掲載していますので、今後森林教育活動を計画、実施する際の取組の参考としてご活用いただければ幸いです。

この事例集に関するお問い合わせや、森林教育活動のご相談は、「みえ森づくりサポートセンター」へご連絡ください。

結びに、本事例集の発行にあたり、活動事例をご提供くださいました皆様方に厚く御礼申し上げます。

令和 3 年 3 月 三重県 農林水産部 森林・林業経営課

みえ森林教育とは

森林と私たちの暮らし、経済がともに持続可能で豊かな社会を作っていくために、子どもから大人まで、三重県で暮らす誰もが、森林や木、木材に親しみ、自ら考え、判断して行動できる人（みえの森びと）に育つことを促す教育活動をいいます。

みえ森林教育の基本的考え方

- ①森林や木材が暮らしや経済に当たり前に取り入れられている社会づくりへ向けた教育
- ②森林に関わる活動やビジネスを志すきっかけとなる教育
- ③自ら考え、判断して行動する力を育む森林教育